

山行申し込み、個人山行の届けは**平井**へお願いいたします。

携帯メルアド：tad-hira@ezweb.ne.jp または P C アド：izc00565@nifty.com

いわて生協山の会：2025 年 11-12 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加×切	備考
11/15(土)	霞露ヶ岳	★★☆☆	2,000 円	11/10	沿岸はまだ紅葉がみられるかも？
11/22(土) ・23(日)	東北B女性交流会 in松島	★☆☆☆	8,000 円	×切	綿花「摘み取り体験」と奥松島をトレッキングする女性交流会です
11/29(土)	東根山	★★☆☆	—	10/27	登山口集合。雪の状態でコースを選択。
12/6(土)	姫神山	★★☆☆	1,000 円	12/1	城内コースを登ります。
12/13(土)	七ツ森	★☆☆☆	1,000 円	12/8	雫石の里山。いくつ登れるかな？
12/20(土)	宇霊羅山	★★☆☆	2,000 円	12/15	岩泉の山。急登を登るとテール状大地。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

第 22 回県連雪崩講習会のご案内

2025/12/7(日) 10:00 から 16:00 基礎講座(座学)

目的：雪崩事故防止の啓発対象：雪山登山・バックカントリー愛好者等（初心者も OK）

内容：雪崩対策の初歩入門（雪崩ビーコンがある方はお持ちください）

〔第 1 部〕「雪崩の基礎知識」（午前）／〔第 2 部〕「サーチ&レスキューの実践」（午後）

場所：盛岡市西部公民館 2 階 参加費 労山会員：1,000 円・一般：2,000 円

2026/1/25(日) 8:30～15:00 実技講習(初級コース)

◎目的：実地体験による雪崩知識の深化 内容：雪崩対策の実践（基礎編）

雪質観察／弱層テスト／埋没体験と掘出し法／ビーコン操作・表示の確認／搜索演習

募集人員：初級コース 15 名 場所：網張レストハウス裏 P

○雪崩基礎講座の受講者を対象とします。なお、過去 3～4 年の間に初級程度の雪崩講習会(座学)の受講経験者でも可とします。＊雪崩ビートン、ザンデ棒、スコップをお持ちの方はご持参ください。

参加費 労山会員：1,000 円・一般：2,000 円

「2026 年・私が登りたい山」を募集します

毎年募集している、「私が登りたい山」を出し合いましょう

＊年明けから希望の多い企画を優先しながら企画を具体化していきます。

2025 年の希望との重複も OK です。リベンジ企画の希望も歓迎します。

次回は 2025/12/4(水) 18:30～ ベルツ青山 2F 会議室にて
1 月の山行計画と 2026 年県外山行の計画などを話し合います。

■10/19(日) 潮風トレイル(桑の浜～仮宿)

参加者 CL /平井・泉・伊藤・中根 4名(66名)

朝 7:00 平井さんの車で出発し、東和 IC から無料区間の釜石道に入り、1時間程で 9:05 釜石北 IC より下りて釜石市片岸公園に着くと、もう既に「内陸と沿岸の交流山行」の参加者が集まっていました。連絡事項の後、車を連ねて桑の浜漁港に車を駐車し、10:00 に潮風トレイルの入口を出発しました。多彩で複雑な海岸線に沿うように林道が続き、起伏は厳しくないものの、長い道のりに同じところを歩いているような錯覚をしてしまいます。進む道の山側は砂粒が固まってできた堆積岩(砂岩)のような岩肌と、周りには松・杉・雑木などが大きく枝葉を広げていて、これから紅葉の見頃になるのでしょうか。時々、木々の間から目にする海や空と水平線の先に「尾崎半島」や「三貫島」が見え隠れするたびに、喜びの声が出てしまいます。ちなみに三貫島は釣り人にとって魚が三貫捕れる島と言われているらしいです。65名の参加者の話し声は「歩くための道」のあちこちで響き渡るので、今話題の「クマさん」に会わないで良かったです。この時期、茸は無いかと探しながら歩いていると、食べたことのない「コガネタケ」の群生が見つかり、皆さん「コガネタケ」を入れた袋を下



げて、出発から3時間歩き、ゴール地点となる仮宿(かりやど)漁港に13:00 到着です。この場所に釜石労山の方があらかじめ車をデポしてくれたので、各会の運転手さんたちは出発点の桑の浜まで車回収に行くことができました。それ以外の人たちは車が来るまで、のんびりと海を眺めながら食事をして待ちました。1時間ほどで次々と車が到着し、全員が集まり最後の締めあいさ

つを釜石労山のリーダー小笠原さんが、各会からの感想が出されて、解散となりました。釜石労山の皆さんには本当にお世話をおかけしました。今日1日楽しく歩けました。ありがとうございました。今日は気温が低かったせいで、汗をかくこともなく歩いて、丁度良かったです。県連の交流山行という行事がなければ、東日本対震災からの復興のシンボルである潮風トレイルを歩くチャンスは中々ないです。三貫島神社の参拝に登る石の階段の途中に「避難場所ここから 90m先」と書かれた看板があり、津波から避難するため、お年寄りの方が登っていくのは、大変だろうなと思いました。震災の記憶を忘れないよう、未来に伝えていかなくてはと思うが、私に何ができるのだろうか？このトレイルの意味をひとつずつ感じながら、考えていかなければと思いました。14:50 仮宿漁港を出て、ベルフ牧野林に17:30 到着です。平井さん、長い時間の運転、疲れさまでした。(泉)



■10/24(金)・25(土) 鳥海山鶴間池と甕(こしき)山

参加者 CL /金子・SL/平井・秋元・小野・中根・藤倉 6名

10/24(金) 山形と秋田の県境にある東北百名山の男甕(おこしき)山に登りました。盛岡から横手経由で登山口迄、長い林道 6.3km を走り 10:00 に登山口につきました。10:10 スタート。見事なブナ林を緩やかに登ると女甕(めこしき)大カツラの木がありました。立派な巨木でした。キノコ取りの登山者2名とスライドしました。収穫は今一？紅葉は丁度見頃で男甕山の岩肌辺りが赤とオレンジのグラデーション綺麗です。分岐からが急登です。久々急登は楽しい！瘦尾根もあり怖さ抜群で木の根っこ掴みながら登りました・。山頂に近くなると甕山の絶景が！名

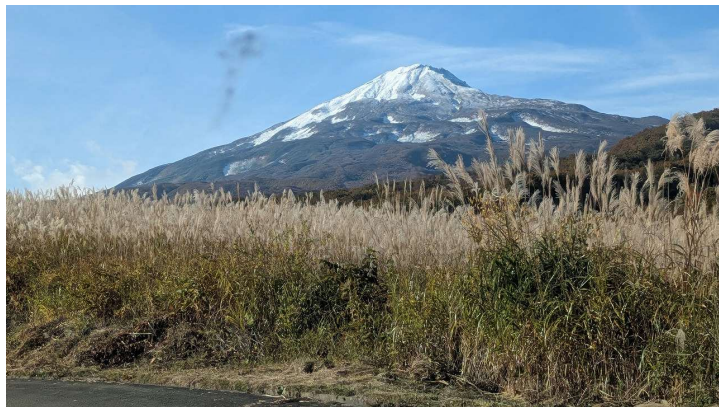


勝沼。

女甕山、見晴らし最高です。山頂に着くと前方に男〇のシンボルの岩(烏帽子岩)が！本物そっくり！そそり立っていました。金子さんは「俺の方が凄いぞ!」！？皆で笑笑笑～笑顔で男〇シンボルをバックに記念撮影しました。下りは急降下した。滑りながらコケたりして下山しました。女甕山は更に急登の様で登らずに分岐から鑑賞しました。山形百名山は中々の急登でした。皆さん頑張りました。お疲れ様でした。(小野)

この日は鳥海山麓・山形県側の湯ノ平にあるロッジに宿泊しました。8人用に6名が宿泊で¥14,300でした。

10/25(土) いつものように早い時間から動きだし始めました。朝食を済ませケビンを 6:30 出発です。鶴間池の展望に 6:50 着。約 44 万年前に鳥海山から噴出した溶岩が地滑りを起こして平坦な地面が生じ、そこに湧き水や雪解け水が留まって出来たのが鶴間池のようです。展望スポットの『のぞき』から、周囲の紅葉の中に有る池を上からのぞいただけだったので 5 分弱くらいでした。車中より白くなったすすきと紅葉の間から雪で覆われた鳥海山を、移動するごとに違う形になっていく姿を見て、感動しているうちに法体(ほったい)の滝に 8:50 着です。朱色の吊り橋を渡り石段を登って行



くと、法体の滝に近い位置に見えて来ました。空海がこの地を訪れた時、不動明王に会い、この滝の名前を『法体』と知らされたので、近くの弘法平で修行を行ったとか…。『一の滝』『二の滝』『三の滝』が有り、滑らかに見える甕穴が点在していました。向こう側には弘法岩が有るようですが、残念ながら判りません。東屋等が有り園内もきれいに整備されていましたが、コーヒータ임なしで法体の滝を 9:32 に出ました。お昼過ぎには家に帰れそうな感じです。途中で昼食をとったのですが、予定より

とっても早い 1:30 牧野林に着きました。長距離運転ご苦労様でした。(秋元)

■11/1(土) 甘神山⇒悪天候予報(大雨)のため中止

参加予定 CL /金子・SL/平井・秋元・小野・中根・フク子 6名